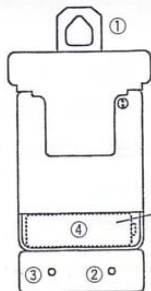
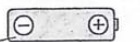
Radio Controlled Clock

電波時計の取扱説明書

●お使いになる前に、この説明書をよくお読みください。●お読みになった後も、必ず保存して下さい。

海外での使用について　この製品は日本国内用ですので、海外での使用には適しておりません。ご了承下さい。

各部の名称

※時計の種類により、デザイン及び部品の位置が異なる場合があります。

① 壁掛け金具
② 時刻合わせボタン
③ 強制受信ボタン
④単3乾電池1本
（マンガン）

単3乾電池1本
※予備電池1本付きです。

ムーブメント図

※アルカリ電池は使用しないで下さい。
故障の原因になります。

製品仕様（ムーブメントは中国製、アッセンブリは日本製）	
使用温度範囲	0℃～＋40℃
受信電波	長波　周波数40KHz・60KHz
受信機能	自動受信：1日12回（電波受診後）
精度	平均月差±20秒
使用電池	1.5V単3乾電池1本（マンガン）
電池寿命	約1年

※上記の製品仕様は、改良の為予告なく変更する場合があります。

時計のご使用方法

※正しく時計を起動させる為に、下記の順番にご注意下さい。

❶ 電池を入れる

単３乾電池1本を、電池ホルダーに正しく入れます。
※⊕⊖を逆に入れると、時計は動きません。

❷ 針が動きだし、4時、8時、12時のいずれかで止まる

電池を入れると、時針、分針、秒針の3つの針が「4時」「8時」「12時」のうち、一番近い時間（またはその次に近い時間）に向けて動きはじめます。次に、3つの針が「4時」「8時」「12時」のいずれかに停止して電波受信待機状態になります。
※受信待機中、針が止まったままになりますが故障ではありません。
※分針の静止位置が多少前後にぶれる場合がありますが、故障ではありません。

❸ 電波受信の結果が出るまで 3～10分間そのまま待つ

通常約3～10分間で電波受信し、針が早送りで動き出し、正確な時刻を指します。電波状況によっては受信までに時間がかかる場合があります。
※受信中は、ボタン類を操作しないで下さい。

■自動受信時刻修正機能について

受信回数：1日12回電波を受信して、時刻修正を行います。

電波を受信出来なかった場合には

※針が止まったり、時刻が合わなかった場合には実行して下さい。

10分経過しても電波受信しなかった場合には、その後2時間ごとに自動的に電波受信を行い、電波受信に成功すると正確な時刻に針が動き出し止まります。

●朝までそのままにしておく

夜間は、電波状態が良くなりますので、そのままにしておくと受信できることがあります。

●電波を強制受信する

強制受信ボタンを約10秒間押し続けます。
電池を入れた時と同じ状態になり、時計の針が「12時」「4時」「8時」のいずれかの位置で停止して電波受信を開始します。

●場所をかえる

電波受信しやすい窓際などに時計を動かし、一度乾電池を抜いて再度乾電池をセットして下さい。

●手動で時刻を合わせる

電波受信がしずらく時刻が修正しない場合、時刻合わせボタンを押して手動で時刻を合わせて下さい。
まず時刻合わせボタンを約７秒間押し続けます。
時計の針（時針・分針）が早回りを始めますので、現時刻近くまで進んだらボタンからはなします。以降はボタンを1回押すごとに針が1分ごとに進むようになります。

手動で時刻を合わせる際の注意

●時刻の針が早回りで動き出した後、約8秒以上何も操作をしない場合は、ボタンを1回押しても針は1分ごとに進まなくなります。
この場合は、再度時刻合わせボタンを約7秒間押し続けて針を早回りさせて下さい。
●時刻合わせボタンは、時針・分針のみ合わせるためのボタンです。

電波時計について

電波時計とは

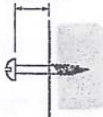
電波時計とは正確な「日本標準時」をのせた標準電波を受信して、正確な時刻を表示する時計です。標準電波は通信総合研究所日本標準時グループが運用しており、標準時は、「セシウムビーム型原始周波数標器」などにより制御された時刻情報は福島県おおたかどや山（40KHz）と福岡県と佐賀県の県境のはがね山（60KHz）の2カ所の電波塔から送信されており、ほぼ日本全国をカバーしております。この標準電波は、ほぼ24時間継続して送信されていますが保守作業などで一時中断することもあります。

電波受信範囲について

条件の良い時は、送信所から約1000Km離れた場所まで受信することが出来ますが、気候条件、置き場所、時間帯、地形、建物によって受信出来ないことがあります。
※電波受信の可能地域はあくまでも目安です。範囲内でも電波受信が出来ない場合もあります。

掛け具について（掛け時計の場合）

●木の厚い壁・木の柱にかける場合

添付の掛け具(木ネジ)をご使用下さい。
掛けネジは垂直な壁面からネジの残しが9mm
以下になる様にねじ込んで、時計を確実に掛けて下さい。

●石膏ボード・コンクリート等の壁に掛ける場合

添付の掛け具(木ネジ)は使用しないで下さい。
壁の材質、構造に合った「3Kg」まで耐えられる市販の掛け具(吊金具)をご使用下さい。

※掛ける場所に合わせた掛け具をご使用下さい。
（添付の掛け具は、木の壁、柱以外には使用出来ません。）
※掛ける時は、時計を上下左右に軽く動かし、外れないことを確認して下さい。

電波時計ご使用上の注意

次のような場所では受信しにくい場合があります。

- ●ビルの地下室など
- ●高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- ●電化製品やOA機器の近く
- ●朝夕の時間帯、雨天の時
- ●工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所。

※受信範囲内であっても、置き場所、
時計の向き、地形や建物の影響などの
環境条件では受信出来ない場合があります。
特に地下室では、受信出来ない場合があります。

安全上のご注意 ※ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐ為のものです。必ず守って下さい。

表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の
程度を、下記の表示で区分して説明しています。

警告	この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は、「障害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守り頂く内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。
（表示の一例です。）

禁止	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
強制	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

■誤飲による事故防止について

警告	付属部品(掛金具、ネジなど)、小型の電池(ボタン形、コイン形及び単４形、単5形など)は、幼児の手の届く所に置かないで下さい。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けて下さい。

■電池について

警告	●電池からもれた液が目に入った場合は、失明する恐れがありますので、医師の治療を受けて下さい。また、皮膚や衣類に付着した場合は、水で洗い流して下さい。 ●ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないで下さい。液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

■電池について

警告	●電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液漏れにより人体や時計周りを傷めることがあります。 ●+(プラス)、-(マイナス)を逆に入れないで下さい。 ●新しい電池と使用した電池や種類の異なる電池の混用はしないで下さい。 ●指定された電池を使用して下さい。 ●使い切った電池は速やかに取り出して下さい。 ●電池交換時は、全て新しい電池とお取り替え下さい。 ●電池交換時は、電池と時計の端子(接続部)の汚れを落としてから入れて下さい。

分解禁止	分解したり改造しないで下さい。故障の原因になります。

■使用場所について

禁止	下記のような場所では使用しないで下さい。機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。 ●温度が+40℃(40度)以上になる所、例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房機器等の熱風や火気に近い所。 ●温度が0℃(0度)以下になる所。 （プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。） ●ほこりが多く発生する所。 （空気中のちり等が機械部にたまり、時計が止まることがあります。） ●テレビ、OA機器、オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。 （磁気の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。） ●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。 ●浴室など、湿気の多い所。 ●温泉場など、ガスの発生する所。 ●多くの油を使用する所。 （霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止りの原因になります。） ●プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニールに長い間、直接触れさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

■お手入について

- ●汚れがひどい時は、水で薄めた中性洗剤や石鹸水を、柔らかい布に少量つけて拭き取り、その後、乾拭きして下さい。
- ●ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類、みがき粉、洗剤等は、使用しないで下さい。
- ●掛時計を壁面に掛けた場合、ケース等の静電気で壁面がよごれる場合がありますので、定期的に汚れを落として下さい。

Q&A ※お問合せ頂く前に、一度お試し下さい。

Q　受信できてもテレビやラジオ、電話の時報サービスと一致しない。
A　まれに誤受信や時計の修正タイミングにより、一致しないことがあります。
対策1. 1秒くらいの進み、遅れの場合は、そのままでも後に自動修正されますが、すぐに修正したいときは強制受信ボタンを押して下さい。

Q　今まで受信できていたのに、急に受信できなくなった。
A　標準電波を送信している設備の定期点検や落雷などの影響で停波（送信停止）することがあります。

Q　時計が正しい時刻で動いていない。
A　ムーブメントの作動音がしているか確認して下さい。
対策1. 電波が正常に受信できていない為ですので、上記の電波時計ご使用上の注意をご覧下さい。
対策2. 強制受信ボタンを押して下さい。
対策3. 電池の残量が少なくなっていると、誤表示の原因になります。製品仕様の電池寿命近くまで使用している場合、新しい電池と交換して下さい。

発売元　株式会社フォーカス・スリー　focus.three316@mist.ocn.ne.jp
〒170-0013　東京都豊島区東池袋2-60-2(909)　TEL.03-5992-6175　FAX.03-5992-6174

日本製